

第2学年 特別の教科 道徳 学習指導略案

【主題名】 社会の一員として地域や社会に関わっていくためには、どのような思いが大切だろう。

【内容項目】 社会参画、公共の精神 <Ｃ－（１２）>

【教材名】 「消防団」（ゲスト：藤井紀之さんの話）

【ねらい】 地域の消防団として活動する藤井さんの話を直接伺うことで、社会の一員として地域のために貢献している人の存在やその思いについて理解し、自分にできることを考える活動を通して、社会の一員として役割を果たすことの大切さに気付く。

【「考え、議論する」道徳を実現させるための手だて】

地域や社会に関わっていくためには、大切な思いについて考えられるよう、生徒が疑問に思ったことや気になることに応じて、ゲストの思いや考えを直接聴き取ることができるようにする。

【本時の学習の流れ】

時	段階	学習活動	具体的な手だて
5	導入 めあて	1 地域のための活動にはどんなものがあるか考える。 ・社会福祉のボランティア ・530（ごみゼロ）運動 2 本時のめあてを確認する。	1 地域のために行われている実際の活動を思い浮かべ、地域貢献についてのイメージを共有する。
10	展開	社会の一員として地域や社会に関わっていくためには、どのような思いが大切だろう。	
15		3 消防団の活動について紹介する。	3 ゲストに実際の活動について簡潔に話していただき、イメージをつかむことができるようにする。
30		4 社会に貢献する人についてどう思うか、考える。 ・働きながらも活動をしていることがすごい。 ・なぜ消防団として活動をするようになったのか気になる。 ・辞めたくることや大変なことはないのかな。 ・活動を続けるモチベーションはどこからくるのかな。	4 コミュニティーボールを使って、活動内容を聞き、気になったことや、疑問に思ったこと、率直な感想など、様々な意見を共有できるようにする。 4 生徒の疑問や思考の流れに応じて、ゲストに質問するタイミングを設け、社会貢献に対する思いに触れることができるようにする。
		地域や社会に関わっていくためには、どのような思いが大切だろう	
		5 地域や社会に関わっていくために大切な思いについて考える。 ・地域に対して愛着をもつこと。 ・自分にできることを常に考えること。 ・自分の力でも役に立つということ。	5 ゲストへの質問を踏まえて考えられるように促す。
		社会の一員として、自分にできることは何だろう。	
35	終末	6 社会の一員として、自分ができることについて考える。 ・学校にくるボランティアの案内が来たら、一度でもやってみる。 ・今は難しいけれど、将来できるようにするために今できる勉強などを頑張る。	6 自分にもできることを身近な体験や活動から考えられるようにする。
45		7 振り返りに自分の思いをまとめる。 ・地域のために、自分にもできることがある、ということは誇らしいと感じた。 ・今は具体的な活動ができなくても、いつかはできるように今できることに精一杯取り組んでいけるようにしていきたい。	7 最後にゲストの思いを聞くことで、社会の一員として貢献することの意義について、感じられるようにする。